



特集

お客様満足度 向上に向けて

北東北石油事業所

季節をめぐる

四季折々

「三月」



三月の異名 | 弥生(やよい) / 嘉月(かげつ) / 夢見月(ゆめみづき) / 早花咲月(さはなさきづき) / 桃月(とうげつ)

| 3月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

3月の行事・祝日
 3日(火) …… ひな祭り
 14日(土) …… ホワイトデー
 21日(土・祝) …… 春分の日

福寿草の鮮やかな黄色が庭先を飾る。土を押し上げるように、クロッカスの芽が頭をもたげる。吹く風が昨日とは違って暖かく感じる。店先に菜の花やふきのとうを見かける。あちらこちらに春を感じる、弥生三月。しかし、三寒四温とはよくいったもので、寒さと暖かさを繰り返しながら、季節が動く。まだ雪が降る日はあるだろうから、油断はできない。

この時期、思い浮かぶ言葉が「休眠打破」だ。寒さで生長を停止し、冬の間眠りに入った花芽が、気温の上昇と共に一気に生長し、やがてふくらみ蕾(つぼみ)となり、花を咲かせる。眠りから覚めるには厳しい寒さが目覚ましがりになる。眠りからそうで、暖かさを感じるためにも厳寒の日はなくてはならない。自然の営みはつくづく偉大だと思ふとともに、わが身を省みるのもこの時期だ。

「休眠打破、休眠打破」と心の中でつぶやきながら、寒さで縮こまった背筋をしゃんと伸ばし、何か新しいことを始めたい、始めなくてはとこの時期、毎年思う。

純情産地発
クララ KLARA 2015
 vol.788 **3**

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳にのしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

contents

| | | | |
|---------------------------------------|----|----------------------------|----|
| 季節をめぐる 四季折々 …… | 02 | 純情むすめ活動記 …… | 09 |
| 特集 お客様満足度向上に向けて …… | 03 | 農業勇士の熱き情熱「AGRICULTURE!」 …… | 10 |
| 細胞イキイキ、老化を遅らす“応援レシピ” 「いただきま〜す!」 …… | 06 | NEWS ワイドアングル …… | 12 |
| みんなの分教場 …… | 07 | イーハトーブの担い手便り …… | 14 |
| 各部発直便 TOPICS …… | 08 | 純情人 …… | 15 |
| | | インフォメーション …… | 15 |



みんなの分教場



営農対策部 担い手対策課
技術主管
佐藤 守

「農業生産法人の育成」

(表1) 県内の農家戸数及び農業生産法人の概要

| 区分 | 市町村数 | 総農家戸数 (2010センサス) | 認定農業者数 (H24) | 農業生産法人数 | | |
|----|------|---------------------|-----------------|---------|-------|------|
| | | | | センサス | 認定農業者 | 独自集計 |
| 県計 | 33 | 76,377 | 7,444 | 424 | 450 | 472 |

(表2) 独自集計による農業生産法人の作目別法人数(平成26年末現在)

| 振興局 | 合計 | 農事組 合法人 | 会社 法人 | 基 幹 作 目 別 法 人 数 | | | | | | |
|-----|-----|------------|----------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 米 穀 | 野 菜 | 果 樹 | 花 き | 畜 産 | きのこ | その他 |
| 県 央 | 118 | 39 | 79 | 47 | 18 | 9 | 5 | 31 | 2 | 6 |
| 県 南 | 285 | 103 | 182 | 139 | 18 | 31 | 11 | 63 | 11 | 12 |
| 沿 岸 | 27 | 4 | 23 | 3 | 3 | 1 | 1 | 11 | 4 | 4 |
| 県 北 | 42 | 14 | 28 | 6 | 10 | 1 | 0 | 19 | 1 | 5 |
| 計 | 472 | 160 | 312 | 195 | 49 | 42 | 17 | 124 | 18 | 27 |

☆その他は、工芸作物や作目が確認できなかったもの。

独自調査(H26)472 > 認定農業者(H24)450 > 農林業センサス(H22)424

農業生産法人の概要

岩手県内の農業生産法人について独自に調査した内容を紹介させていただきます。平成25年度末農業経営基盤強化促進法に基づく法人数は450法人で、内容は市町村段階止まりで詳細は不明です。独自に各種データを取りまとめた中間報告ですが、平成26年末現在県内で活動している農業生産法人472法人を特定しました。

①法人設立分類 農事組合法人160(34%) 会社法人等312(66%)
②分野別法人 米穀41%、畜産26%、野菜10%、果樹9%、花ききのこ4%等

農業生産法人設立の歴史

昭和27年農業基本法制定後、農業構造改善事業、大規模牧場建設や矮化りんご団地造成、昭和50年以降の北上山系開発や国営農地開発事業により農業生産法人が設立されました。その後、水田農業構造改革や経営安定対策に対応した集落型農業生産法人設立の誘導により平成26年末113法人(農事組合法人85%)が農地の保全と有効活用をはかり、構成員の雇用拡大など地域の農業経営を担っています。法人の中には1000畝規模の農事組合法人や1000人を雇用する株式会社も運営され、農業構造の改革が進んできました。

農業生産法人の取り組み

農業情勢が大きく変化する中で集落型農業生産法人は、将来の展望が持たなく様子見と言う法人も多い中で、独自の経営確立のために新たな分野に取り組んでいる事例もあります。

①集落型農業生産法人の園芸導入による複合化
販売額1000万円以上をめざして露地ピーマン1畝、ジャガイモ7畝、エタメ4畝、露地切花(りんどう・小菊)1畝以上、ハウスピーマン0.6畝や葉菜類に取組。

②農業経営の多角化
直売、コンビニ、加工製造(パン、ジャム、ジュース等)、観光農園など多角化に取り組んでいる法人もあり、古くから多角化に取り組んだ養豚、養鶏や酪農では2次3次部門が本業に代り、地域経済に大きな役割を果たしている事例。

③農業生産法人間の連携
JAいわて花巻やJAいわて中央では集落型農業生産法人による法人連絡協議会の設立や広域での野菜生産・供給の共同取り組みとしての法人間連携。

農業生産法人のポイント

農業生産法人は共同社会運営法人か企業経営法人を選択するかによつて、今後の戦略が異なりますが、食料等の生産供給に加えて営業の取り組みがポイントになると考えています。様々な事例を

研究して、方針を確立し、食料産業の担い手として新たな分野に挑戦して欲しいものです。

(1)価格形成や売れる農産物を生産するため、売ること重点をおいた取り組み
①直接販売、②加工品製造販売、③サービス業の導入(6次産業化)

(2)農業生産法人間のネットワークづくりと共同活動の取り組み
互委託、機械の共同利用、販売の連携や共同出資による製造販売会社などの設立・運営の取り組み

(3)消費者との連携による独自の販売戦略の構築、特定の消費者との結びつき(例CSA(Community Supported Agriculture)による食料供給の取り組み)

(4)農産物を仲立ちに地元の製造業やサービス業との提携、農商連携の取り組み

(5)集落型農業生産法人による地域を巻き込んだコミュニティビジネスの取り組み

(6)M&A(Mergers and Acquisitions)合併と買収による経営規模の拡大等

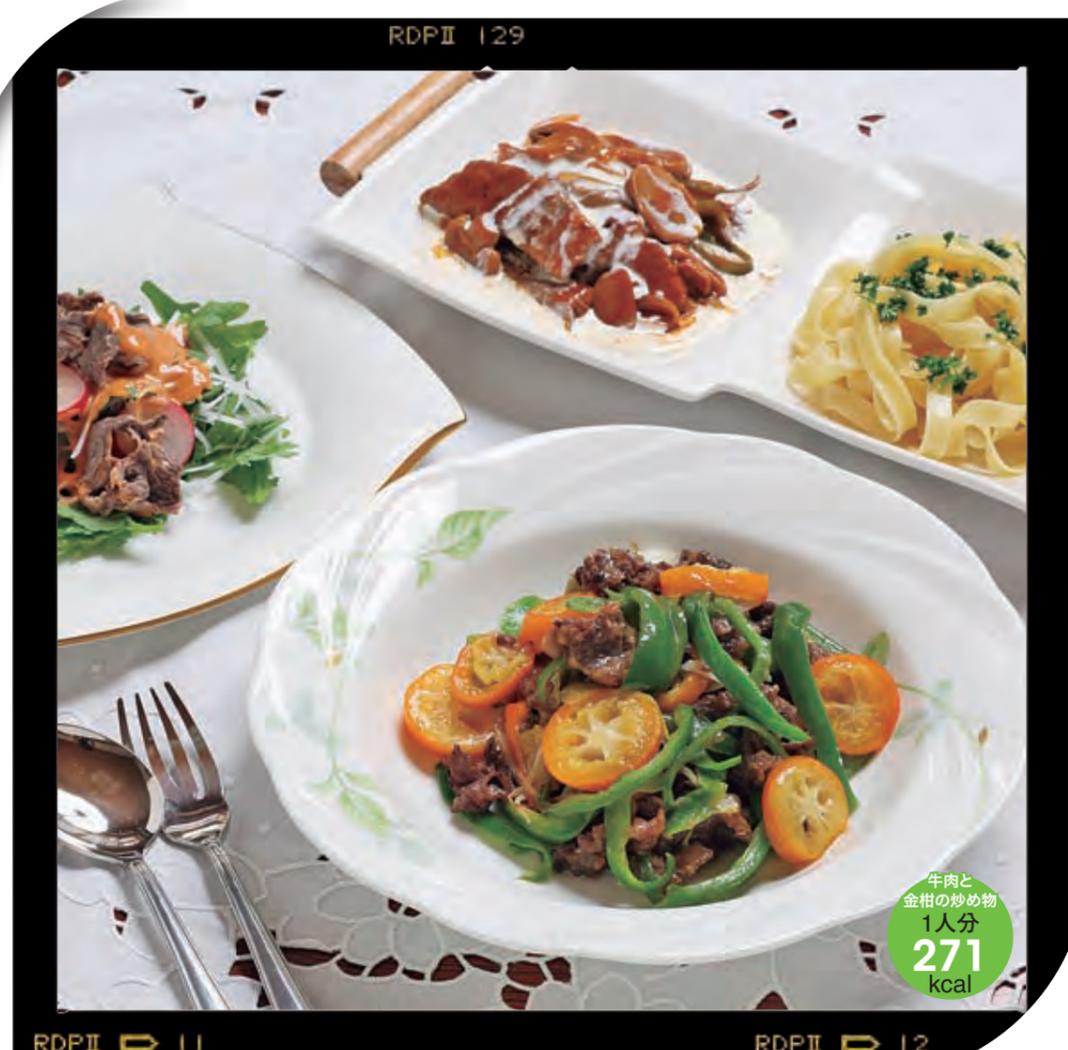
終わりに、農業生産法人の設立に視点が置かれていますが、設立した法人を育て自立させることが緊急の課題であり、農業生産法人の現状や課題を把握して具体的な支援をおこなうことが重要であると考えます。関係部署が所有しているデータを活用し対策をおこなうことにより、本県農業の構造改革の担い手である農業生産法人に活躍してもらおうことが重要であります。

(表4) 集落型農業生産法人の概要

| 法人数 | 農事組 合法人 | 会社法人 | 規模別集落型農業生産法人数 | | | | |
|-----|------------|------|---------------|-------|--------|--------|---------|
| | | | ~50ha | 50ha~ | 100ha~ | 500ha~ | 1,000ha |
| 113 | 96 | 17 | 30 | 62 | 19 | 1 | 1 |

(表3) 施策等による法人経営体誘導の歴史

| 時期 | 内容 | 施策事業名 |
|--------|-------------|------------|
| 昭和37年~ | 農業生産共同経営体 | 農業構造改善事業 |
| 昭和40年~ | 大規模牧場経営体 | 畜産の補助事業 |
| 昭和48年~ | 大規模りんご団地経営体 | りんご団地造成事業 |
| 昭和50年~ | 北上山系開発経営体 | 広域農業総合開発事業 |
| 昭和57年~ | 旧藤沢町大規模経営体 | 国営農地開発事業 |
| 平成15年~ | 集落型農業生産法人 | 水田農業構造改革 |



牛肉と金柑の炒め物
1人分
271 kcal

最高のたんぱく源 牛肉と金柑の炒め物

栄養ポイント

牛肉は優秀なタンパク質食品である。人体で作ることができない必須アミノ酸をバランス良く含んでいる。タンパク質は人間の血液や皮膚、内臓などを作るために必要なもの。風邪を引きやすい人や肺炎になる人はタンパク質不足が原因のことが多い。脂肪の燃焼に欠かせないビタミンB2や造血ビタミンのB12を多く含むなど、ビタミンB群も豊富な牛肉。特に赤身の部分に多い鉄分は吸収率が高く、貧血を予防する。また、牛肉は人間の脳を活性化させるアラキドン酸(脂質の一種)を多く含む。脳細胞にアラキドン酸が欠乏すると元気がなくなり、乳幼児の脳の発達障害や成長期の思考力低下などを呼ぶほか、「肉の摂取量が少ない人は認知症になりやすい」とも言われている。が、牛肉の過剰摂取は禁物。動脈硬化やアレルギー性の湿疹を引き起こす原因になるので注意。牛脂はコレステロールが高いため、すき焼きやステーキなどには植物油を使用したほうが良い。

【ビーフストロガノフ】材料…牛もも肉、玉ネギ、マッシュルーム、ピーマン、ニンニク、赤ワイン、トマトケチャップ、コンソメスープ、水
【春菊と牛肉のサラダ】材料…薄切り牛肉、春菊、長ネギ、ラディッシュ、ドレッシング(マヨネーズ、コチュジャン、めんつゆを合わせる)、いり白ごま

効用——牛肉と野菜の食べ合わせ

野菜に含まれる食物繊維はコレステロール低下作用があり、肉料理には野菜を加えることがおすすめ。牛肉の赤身には鉄分が多い。鉄分の吸収をよくするためには野菜、果物などのビタミンCが必要。牛肉とブロッコリーと一緒に食べると貧血予防アップ、ごぼう(リグニン)との組み合わせで免疫力アップ、きゅうり(カリウム)との組み合わせで腎機能アップにつながる。

材料(2人分)

牛もも薄切り肉140g、A(塩・胡椒・酒・醤油各少々)、小麦粉少々、油少々、キンカン6個、ネギ半本、ニンニク1片、ピーマン2個、サラダ油小さじ2、水溶き片栗粉大さじ1、ゴマ油少々、合わせ調味料(醤油・オイスターソース各小さじ1、酒・砂糖各適量、塩・胡椒各少々、水大さじ3、顆粒中華スープの素少々)

作り方

- ①合わせ調味料を用意しておく
- ②牛もも薄切り肉を3cmくらいに切って、Aを加えて下味をつけ、小麦粉をまぶし、油で炒めておく
- ③キンカンはさつと茹でこぼしてから輪切りにし、種を除く。ネギは斜め切り、ニンニクは薄切り、ピーマンは細切りにする
- ④フライパンに油を熱してニンニクを入れて炒め、香りが立ったら③のネギ、ピーマン、キンカンの順に加えて炒める。そこに②を入れ、合わせ調味料を加え、水溶き片栗粉でとろみをつけ、ゴマ油を回し入れる



細胞イキイキ、老化を遅らす。応援レシピ。

しただきやす!



料理監修/高橋ヒサ子
管理栄養士、健康運動指導士
特定保健指導実践者
いわて糖尿病療養指導士
HACCP(食品衛生危害分析)指導者
(公社)岩手県栄養士会理事

澄んだ空気、美味しい水、肥沃な大地
理想的な環境下で育つ岩手の牛

肉質・風味ともに優れた評価を獲得し、東京食肉市場でも人気が高い岩手の肉牛。全国の数ある銘柄牛の中で日本の栄誉(全国肉用牛枝肉共励会の和牛雌部門「最優秀賞」受賞)に輝くなど、素晴らしい実績がそれを物語っています。

安心と安全、そして味わいにこだわる「いわて和牛」は豊かでクリーンな自然環境の下、繁殖・肥育から販売まで一貫した厳しい管理体制によって生産されています。また、一頭一頭を慈しむ畜産農家のきめ細やかな愛情に守られ、手塩にかけて大きくなる牛はストレスが少なく、それが肉質・旨味ともに優れたものになる大きな要因でもあります。

岩手はもともと優秀な子牛の生産地。全国の名だたる和牛の産地から岩手に子牛を買いに来るほどです。最高水準の素牛生産、優良素牛の主産地。岩手が誇るブランド牛。その高い品質と美味しさは「高級ブランド牛肉」として牛肉市場で高い評価を得ています。

各部から最新情報をピックアップいたします。

各部発直便



園芸部

JA全農式トロ箱養液栽培システム「ういずOne」のご紹介

JA全農では、水稻育苗ハウスや遊休ハウスなどの有効活用を目的として、トロ箱養液栽培システム「ういずOne」を開発しました。「ういずOne」は、発泡スチロール箱の栽培槽を用いた隔離床養液栽培で、設置が容易で導入コストが安価なシステムとなっています。

〈ういずOneの特徴〉

- ①発泡スチロール箱による断熱効果で、夏期高温時期でも根域温度上昇を防ぐことができる。
- ②灌水ドリッピングを用いた隔離床養液栽培であるため、根域制限による草勢管理が自由になる。
- ③液肥混入機以外の部分は自主施工なため、導入コストが大幅に低下する。
- ④トマト栽培全般で利用が可能。

〈ういずOne商品構成〉

- ①液肥混入機、②灌水チューブ、③プラスボックス(発泡スチロール箱)、④培土・パーライト、専用肥料

「ういずOne」導入ご検討の方は、価格等具体的提案をおこなってまいりますので、JA全農いわて園芸部または、お近くのJAへご相談下さい。(花き・資材課)



資材部

北日本雪合戦大会を応援します!

スポーツとして雪と親しみ、冬の体力向上と競技者相互の親睦を目的として、「北日本雪合戦大会」が西和賀町で1月24日、25日の2日間に渡り開催されました。

雪玉を自分たちで作り、3分3セットマッチで7人のプレーヤーが相手陣地に攻め込む、臨機応変の戦略とチームプレーが培われるスポーツです。

一般、レディース、ミックスの3部門があり、県内外から92チームが参戦し雪上の熱い戦いを繰り広げ、「JA全農いわて」チームも一般の部で参戦しました。

表彰式では、特別協賛として3部門の優勝、準優勝、3位のチームに「岩手のお米」、「全農ブランド詰め合わせ」、「岩手のりんご」をそれぞれ贈りました。

雪に親しみながら、年齢、性別、職場を超えて交流できる冬のスポーツ、雪合戦大会を応援します!

JAの太陽光発電で始めるエコライフ

太陽の恵みを暮らしに取り入れるクリーンなエネルギー、太陽光発電。

ご家庭の照明や家電製品は、太陽光で発電した電気を使い、調理や給湯はガスにすることで、消費電力を抑えて、太陽光で発電した余剰電力を電力会社に売ることが出来ます。

このようにガスと電気を組み合わせることで、より経済的で快適な暮らしが実現します。

ご家庭のエネルギーの利用状況に合わせて、光熱費シミュレーションをおこない、最適な組み合わせ「エネルギーのベストミックス」を提案していきます。

ただいまJAでは、太陽光発電キャンペーンを実施中です。

内容：太陽光発電システム、1KW当たり1万円値引き(最大10万円)
 期間：平成27年3月31日(火)までにご成約いただいた方
 お問合せ：お近くのJA-LPガス販売店、またはエネルギー課(TEL.019-626-8688)まで。

(エネルギー課)



シンガポールで岩手のお米をPR!

1月14日から19日までシンガポールにある明治屋さんにて岩手県産ひとめぼれとあきたこまちの販売促進活動をおこなってきました。

初日は岩手県のお米を取り扱って頂いている会社を訪ね、「挨拶をさせて頂く」ともいろいろなことを教えて頂きました。中でもシンガポールの食生活について聞くと、日本食が大人気で皆さん好んで食べているということでも嬉しく思いました。スーパーなどの売り場の見学もしました。見てみると日本の見慣れた食材や加工品などが多く「瞬間」は「日本」だと思っ



2014いわて純情むすめ 工藤 恵衣

てしまうほどで少し驚きました。2日目からは販促活動というところで言葉通じることと不安と緊張がありました。話せない分笑顔が絶えず、また現地のスタッフさんに助けて頂き販売することが出来ました。お店では意外にも日本人の方が多く、岩手県出身の方もいて安心してきちんと自分の言葉で伝える事もできました。また、言葉が通じなくても試食してもらって美味しさを味で伝えることができていたのでも、たくさんあったお米は無事最終日に完売することができ、本当に良かったです。販促活動以外にはマライオンや

笑顔が はじける 純情むすめ 活動記



綺麗なシンガポールの夜景、素敵な街並みを見たり、現地のご飯を食べたりと夢のような体験をさせて頂きました。ご飯は中華系で美味しかったのですがやっぱり岩手のご飯が一番だと実感しました!!

今回こうしてシンガポールに行きお米を販売しながらいろいろな方々と交流し、体験して本当に勉強になりました。私にとって大切な思い出です。純情むすめの活動も残り半年をきりますが、学んだことをこれから参加する活動でも生かしていき、岩手県の農畜産物の素晴らしさをもっともお伝えできるよう頑張ります。





丁寧な作業が品質に繋がります



店先まで直接商品を届けます



日々の作業の様子

Profile

中村 堅一 (なかむら けんいち)

神奈川県出身。農業を仕事として選択し、研修の後に岩手県北上市にて花き栽培を始める。初めての農業に不安と苦勞を感じながらも、周りのあたたかいサポートと、農業を仕事として選んだ自分の選択を信じて進んできた。自分の信念を貫き努力する、意思の担い手。



挑み続ける花づくり

園芸家
中村 堅一さん



農業勇士の熱き情熱

AGRICULTURE!

農業を仕事として選択

中村堅一さんは神奈川県出身です。地元の大学に進学した後、卒業間際の当時、時代は就職難に突入。周囲も自分も就職活動に悪戦苦闘の日々を送っていました。そうしているうちに、やがて中村さんは「それであれば、大きく方向転換して、農業を仕事として選んでみよう」と考えました。一念発起して就農を決定したからには、その行動は積極的でした。就農支援団体の支援を受けて研修を積み、その後、岩手県北上市内町で花き栽培に乗り出しました。現在は盛岡の市場や花屋への出荷のほか、近くの産直「あぐり夢くちない」へ育てた花きを出荷しています。今後は東京の市場へも出荷していきたいと、中村さんの夢はどんどん膨らみつつあります。

農業に「3K」のイメージはなかった

「自分が農業と関わりが少ない環境で育ってきたからかも知れませんが、農業に対して、決して悪いイメージを持っていなかったんですよ。俗に言う「3K」っていうイメージはなかったんですよ。そういう部分が自然と、「農業」を仕事のひとつとして選択してくれたのかもしれない。緑に囲まれて、広大な自然の中で仕事ができる。デスクワークしているより、ずっと健康的だなって思いました」と、爽やかに語ります。

また、未知の土地で花き栽培をおこなう不安について訊くと「当然、未知の世界での挑戦ですから、将来への漠然とした不安は沢山ありました。でも、ここまで来たのなら、やるしかない！っていう気持ちで、ここまで進んできました」と、明るく笑います。

花き栽培を始めたばかりの頃のことを、中村さんは語ってくれました。それは、まだそれほど付き合いが深くない人たちが親身になって相談に乗ってくれたり、応援してくれたこと。「精神的な支えになってくれて、とてもありがたかったです。周りの温かいサポートに恵まれました」と。

花き栽培の魅力と将来の夢

「手入れを怠ってしまえばすぐに枯れてしまいますが、毎日一生懸命手をかけて育てること、自分の気持ちで伝わったみたい、大きくきれいな花を咲かせてくれます。そこに花き栽培の魅力を感じます。だから、お客様のものと自分の育てたものが、きちんときれいな花を咲かせるよう、しっかりとした健康的な苗を常に生産すること。これを大切にしていることに取り組んでいます」。その言葉には、農業を仕事として選んだ自分の選択を信じ、信念を貫いて努力する意志がはつきりと伝わってきました。

将来については「規模を拡大して行きたいです。現在は生産のみの状況なので、例えば見本園を持つとか、直営・直売店を持ちたいです。そうなれば最高ですね」。

最後に、これから就農する人へのメッセージを語ってもらいました。

「新しく始めるつて、ことは、将来に漠然とした不安を抱えた状態ですよ。自分もそうでした。だから、自分で決めたことに自信を持ってトコトンやり切ってみることが大切なんだと思います。成功しても失敗しても、農業に対して一生懸命取り組んだのであれば、きつと後悔はないはず。悩んでいる人は、まず行動にでること。取り組んでみてほしいです」。



JA全農いわては生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

今回のインタビュー内容はJA全農いわてウェブサイトにも掲載されています。
詳しくはJA全農いわてホームページで。

営農指導の成果を表彰

2月9日(月)

平成26年度いわて純情園芸営農指導員表彰式

JA全農いわて園芸部は盛岡市内で、平成26年度いわて純情園芸営農指導員表彰式を開催しました。この表彰制度は平成19年度から始まり今回で8回目。系統園芸事業にて優れた実績や将来にわたる革新的な取り組みをおこなったJA営農指導員を表彰し、県内営農指導員の情報共有による技術と意欲の向上をめざしています。今年度は5名のJA営農指導員が表彰され、表彰式では、評価された取組内容やそれを支えてくれた方々への感謝の言葉などが述べられました。

■受賞者(敬称略)

| | | |
|----------|-----------------------|--------|
| JA新いわて | 南部営農経済センター 米穀園芸課 | 南黒沢 直人 |
| JAいわて中央 | 盛岡地域営農センター 盛岡営農推進課 | 千田 裕介 |
| JAいわて花巻 | 営農推進部 園芸販売課 | 佐藤 ひかり |
| JA岩手ふるさと | 営農経済グループ 園芸課 | 小野寺 耕太 |
| JAいわて平泉 | 営農部 園芸課 | 菅原 真一 |



今年度の受賞された方々と関係者

女性若年層へいわて純情米をPR!

2月23日(月)

「選べる!世界の恋愛パワースポットツアープレゼントキャンペーン」抽選会

JA全農いわて米穀部は、盛岡市内にて「選べる!世界の恋愛パワースポットツアープレゼントキャンペーン」抽選会を開催しました。このキャンペーンはJA全農いわてが、これからの食を担う若い女性をターゲットに岩手のお米をPRしていく「恋するおコメプロジェクト」の一環で、いわて純情米に関するクイズに答えていただき、正解者の中から抽選で、恋愛パワースポットツアーを含む海外旅行が当選するというものです。

キャンペーンへの応募総数は27,474件で、その中から応募者数が最多となったB賞「イタリアのため息橋を含むヨーロッパ旅行6泊8日」の抽選をJA全農いわて菊池副本部長がおこないました。

また会場では、同時期に開催された美人時計とのコラボ企画「全国おにぎり笑顔美人コンテスト」のグランプリ発表もおこなわれ、名古屋美人時計の筒井萌子さん(すげのほのか)がグランプリに選ばれ、副賞として旅行券と恋するおコメ1年分の目録が贈呈されました。



B賞当選者抽選の様子



グランプリに選ばれた筒井さんと2014いわて純情むすめ

高品質な生乳生産のため

1月30日(金)

平成26年度 岩手県乳質改善大賞表彰式

岩手県乳質改善協議会は盛岡市内にて、岩手県乳質改善大賞表彰式を開き、酪農家やJA関係者、行政など80名が参加しました。この賞は、日々、生乳生産技術の向上に努め、継続的に高品質な生乳生産をおこなっている優良農家を公表するとともに、優良農家を表彰して本県乳質の向上をはかることを目的として実施しています。今年度は12名が大賞受賞となり、表彰状と記念品が授与されました。

■平成26年度岩手県乳質改善大賞受賞農家

| | |
|-------------|----------|
| JA新いわて(葛巻) | 大上 敏男 |
| JA新いわて(葛巻) | 戸花 豪紀 |
| JA新いわて(葛巻) | 林 文男 |
| JA新いわて(葛巻) | 松村 文継 |
| JA新いわて(葛巻) | 落合 隆一 |
| JA新いわて(久慈) | 下館 友裕 |
| JA新いわて(奥中山) | (有)土里夢農場 |
| JA新いわて(奥中山) | 川又 紀元 |
| JA岩手ふるさと | 丸山 芳照 |
| JA岩手ふるさと | 横尾 まき子 |
| JA岩手ふるさと | 高橋 秀光 |
| JAいわて平泉 | 菅原 雅典 |



岩手県乳質改善大賞受賞者の皆さん

最新の農業機械の性能を体感!

2月19日(木)、20日(金)

アグリピックin岩手2015「JA&クボタ次世代農業チャレンジ体感デー」

JA全農いわて農機事業部は、JA岩手ふるさと産直施設「来夢くん」敷地内にて「JA&クボタ次世代農業チャレンジ体感デー」を開催しました。

このイベントは、農作業の省力化・ICT農業経営技術の紹介や、低コストで組合員が納得する機械の試乗などを通して、担い手農家に元気な農業を提案するために開催されました。

会場では、乗る、学ぶ、見る、触る、聞くをテーマに最新技術の紹介ブースや、最新農業機械の実演試乗コーナーなどが設けられ、担い手農家のニーズに応える提案をおこないました。



会場は多くの人で賑わいました



最新農業機械の試乗をおこなう来場者

純情人

JA全農いわたの
じゅん じょう びと



畜産酪農部 酪農課
いしかわ なおゆき
石川 直幸さん(28歳)

趣味・特技

写真、読書、バイク、登山など

現在の担当業務

酪農家の方々に出荷して頂いた生乳代金の精算業務(乳代精算)と国の補助事業を担当しています。

これからどんな職員になってみたいか

経営診断などを通じて経営改善支援をおこなえるようになりたいと思っています。

JA全農北日本くみあい飼料(株)に出向していた時に、1メーカーとして生産者の方々に接し、「生産者＝経営者」であることを改めて実感したからです。

生産者の方々の農業経営のパートナーとなれるようこれからも頑張ります！



遠藤比呂志さん



担い手班のハウス建設現場

「トマト生産にチャレンジ」

遠藤比呂志さん(一関市)

新規就農・トマト生産者に

遠藤比呂志さん(42歳)は一関市室根町に居住し、気仙沼市に隣接した国道284号沿いの折壁地区で平成26年から岩手県内一のトマト産地で新規就農者としてトマト生産を開始しました。

一関市は東西130kmを範囲に宮城・秋田両県に接しており、東磐井地区は中山間地域で古くは養蚕や葉たばこの産地として、畑作を中心に水稻及び畜産を加えた複合経営がおこなわれて来ました。その後、養蚕や葉たばこに替りトマトや小菊などが導入され、簡易雨除け栽培やパイプハウスを活用したトマト栽培が盛んになり、現在では県内一の大玉トマトと小菊の産地になっています。

比呂志さんは、平成25年6月まで地元の弱電連企業に勤務していましたが、農業をやりたいとの希望から退職してトマト栽培をおこなうことを決意して、8カ月間新規就農研修を受講した後、平成26年から新規就農者としてトマト栽培をおこない、1年間の営農の成果が出たところにお邪魔してお話を伺うことが出来ました。

認定就農者として農業経営者に

比呂志さんは同市大東町大原の出身で、室根町の遠藤家に嫁ぎ会社員として勤務していましたが農業をやりたいとの夢を実現するために平成25年6月に退社し、当時のJAいわい東の営農指導員に相談したところトマト栽培を勧められ、一関市が準備していた新規就農者研修制度(農協の臨時職員)を活用して、平成25年8月から3月までトマト部会員などで半年間栽培管理、出荷調整や生産施設整

イーハトーブの担い手便り

純情産地の創造者たち

備などの研修を受講しました。そして平成26年から自宅のパイプハウス3棟6坪とJA水稻育苗ハウス4棟14坪の合計20坪でトマト栽培に取り組みました。新規就農者研修は収穫からの内容でトマトの播種や育苗は初めての経験であり、初収穫までは胃が痛む日々を送りながらも最終的に15坪弱のトマトを出荷することが出来ました。1年間妻や両親の協力のもと、JAいわて平泉トマト部会担い手班の仲間にも励まされ、指導や支援を受けて、4月の定植、6月20日の初出荷から12月初めまでJAの共同選果場にトマトを運ぶことが出来ました。

40歳を過ぎてからの転職、就農することについて妻をはじめ家族から反対されましたが、農業をやりたいとの強い意志が家族にも理解され、義父からの経営移譲により認定就農者として就農し、青年就農給付金制度の活用などにより1年間営農することが出来ました。

トマト生産者として農業を担う

JAいわて平泉トマト部会員は165名で、栽培面積23畝(雨除け7割、簡易雨除け3割)で全て新規部会員である比呂志さんの販売額は1%を占めています。栽培体系が4月末定植の雨除け



担い手班研修会

普通栽培が3割、水稻育苗施設を活用した6月定植が7割の実績で、10坪当たりの出荷量は7.2坪と部会全体の平均を上回っており、1年目で部会員としての役割を果たすことが出来たことに対し自信を深めています。

就農計画では40坪の栽培規模で販売額1000万円以上を目標にしており、JAいわて平泉トマト部会担い手班員としても積極的に活動していることから、早期に目標の経営規模を達成するために全農の新規就農育成対策(1/4以内・100万円上限補助)の活用などを紹介させていただきました。

農業生産者として「土耕栽培で雨除けトマト10坪当たり18坪生産している小山さん」を目標にしたいこと、自分の年齢を考えれば経営確立はここ数年以内に実現したいと話しています。

新規就農者の確保・育成は、就農を判断できるためのアドバイス、家族の理解に加えて仲間や関係者の支援が上手くマッチングし機能すること、各種支援制度が効果的に活用され目標が実現されることが重要であり、成功している事例として比呂志さんを紹介させていただきます。

比呂志さんには遠藤家の農業経営者として家庭を守り、トマトの専業農家として経営の確立をはかることにより、地域農業及び地域社会の中核的な担い手として活躍していただくことを祈念するとともに、今後のご活躍を期待するところです。

遠藤比呂志さんの経営概況

- 住 所：一関市室根町折壁字岩田30
- 労働力：本人、妻、父、母(雇用1名・3ヶ月)
- 営農規模：トマト20a
- 施設機械：トラクター1台

◎林風舎

INFORMATION ~お知らせ~

大切な人への贈り物 産地直送JAタウン

JAタウンとは、JA全農が運営するインターネットショッピングモールです。「もっと近くに美味しいニッポン」をテーマに、JAタウンに出店するJAや全農農本部が、各産地で育まれた農産物や特産品をインターネットを通じて消費者の皆様へ直接お届けします。また、ネットショッピングサイト大手のアマゾンへJAタウンの出店が決定しました。ちょっぴり贅沢して自分へのご褒美に、大切なあの人への贈り物に、あらゆるニーズにお応えします。是非ご利用下さい！

JAタウンHP <http://www.ja-town.com/shop/f/f0>

■岩手県出店 いわた純情館(JA全農いわた)

四国四県の広さに匹敵する岩手県の広大な土地にある豊かな自然と生産者の地道な努力により育まれた「純情産地いわて」の安全・安心で美味しい農畜産物を全国の食卓へお届けします。

味が自慢のJA江刺(JA江刺)

奥州藤原氏ゆかりの地より、お米では最高ランク「特A」の評価を受けた『江刺金札米』、りんごでは2010年サンふじ初競りにて1箱(特選10kg)100万円で取引された味と品質を誇っている『江刺りんご』をお届けします。

後編記集

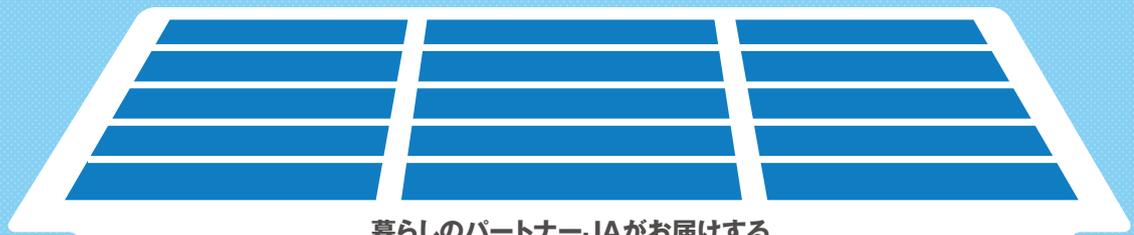


気付けば3月、広報誌の担当になり1年が過ぎようとしています。様々な農業の現場に伺い取材をさせていただき、多くを学ぶことができた1年間でした。4月号からは2年目に

突入、読者の皆さんが本当に欲しい情報、知りたいたいことを分かりやすく伝えられるよう、企画・記事の構成を考えていきたいと思います。宜しくお願ひします！

(山本)

JAの太陽光発電で始めるエコライフ!



暮らしのパートナーJAがお届けする、
太陽のクリーンなエネルギーを暮らしに取り入れた「太陽光発電」。

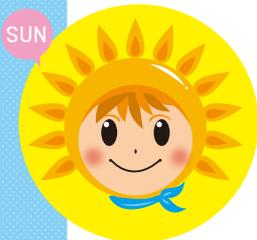
電気代を減らすだけでなく、使わずに余った電力は
電力会社に売電できて家計にもやさしい。

さらに天候などに左右されないガスと組み合わせれば、
売電量はより多くなりおトクです。

お客様に合わせたご提案から

JAならではの安心のシステム保証まで、
太陽光発電とガスの快適な暮らしをサポート。

さあ、あなたもおトクにエコ生活を始めませんか。



今なら!!

平成26年4月～平成27年3月末の 期間中にご成約の方は

1kWあたり
1万円で
最大

10万円値引き!!

¥ いったい、いくらおトクになるの?
無料! 光熱費シミュレーション 実施中!

さらに!! キャンペーン期間中お見積り依頼の方に
**オリジナルQUOカード
500円分プレゼント!**

*数に限りがありますのでなくなり次第終了となります。予めご了承ください。

お問い合わせはお近くの販売店へ

| | | | | | | | | |
|------------|----------------------|-----------------|------------|---------------------------|-----------------|-----------|-------------------------|-----------------|
| 宇石町 | JA新いわて・南部LPガスセンター | TEL019-692-4786 | 磐前町・カ戸村 | JA新いわて・北部営農経済センター九戸地区担当課 | TEL0195-42-3111 | 奥州市・金ヶ崎町 | 株JA岩手ふるさと協同サービス-LPGセンター | TEL0197-41-3800 |
| 八幡平市 | JA新いわて・八幡平LPガスセンター | TEL0195-75-0181 | 盛岡市・赤町・東浜町 | JAいわて中央・燃料課 | TEL019-697-3950 | 奥州市江刺区 | 株Eーポート・ガス課 | TEL0197-35-7874 |
| 盛岡市玉山区・船子町 | JA新いわて・東部LPガスセンター | TEL019-683-1121 | 花巻市 | 株JAグリーンサービス花巻-LPGセンター花巻 | TEL0198-31-3200 | 大船渡市 | JAおおふなと・燃料課 | TEL0192-27-6932 |
| 盛岡市 | JA新いわて・葛巻中央支所 | TEL0195-66-2444 | 北上市 | 株JAグリーンサービス花巻-LPGセンター北上 | TEL0197-68-4800 | 盛岡市 | JAおおふなと・高田ガス事業所 | TEL0192-54-5000 |
| 野田村・野代村 | JA新いわて・野田ガス事業所 | TEL0194-78-2151 | 西和賀町 | 株JAグリーンサービス花巻-LPGセンター西和賀 | TEL0197-85-3332 | 住田町 | JAおおふなと・住田ガス事業所 | TEL0192-46-2665 |
| 洋野町・么岳市 | JA新いわて・大野ガス事業所 | TEL0194-77-5001 | 遠野市 | 南JAとおのライフサービス-LPGガスセンター遠野 | TEL0198-62-5394 | 一関市西部・平磯町 | JAいわて平泉 一関ガスセンター | TEL0191-23-5821 |
| 二戸市・戸町 | JA新いわて・北部営農経済センター購買課 | TEL0195-22-4361 | 釜石市・大槌町 | 南JAとおのライフサービス-LPGガスセンター大槌 | TEL0193-42-2668 | 一関市東部 | JAいわて平泉 千歳ガスセンター | TEL0191-23-5821 |



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。